

□ 要請番号 (JL05418B01)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
インド	G157 日本語教育		個別	交替 4代目	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2 ・ 2019/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

人的資源開発省

2) 配属機関名 (日本語)

国立 ビシュババラティ大学 日本語学科

3) 任地 (西ベンガル州シャンティニケタン) JICA事務所の所在地 (デリー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (飛行機+車で約 7.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

西ベンガル州ビールブーム県シャンティニケタンにある国立大学。日本にゆかりの深いノーベル文学賞受賞者のタゴールが配属先の前身となる学校を設立したことで知られており、特に芸術分野で有名な大学である。同校の日本語学科は1954年設立。インドで初めて日本語学科が設立された大学であり、2014年には設立60周年を迎えた。現在でも東インドで唯一日本語の学科を持つ大学となっている。現在、日本語学科では学士課程、修士課程、博士課程が開講されており、2017年12月1日現在、130名の学生が学んでいる。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

日本語を主専攻で学ぶことができる大学は数少ないが、同校は東インドで唯一日本語主専攻を持つ大学である。2007年から4代にわたり隊員派遣(長期JV3名、短期JV1名)を行ってきたが、現在、隊員に教わった学生たちがインド各地で活躍は始めている。任地シャンティニケタン(「平和郷」の意)は西ベンガル州の州都の Kolkata から列車で4時間のところにある農村部である。日本人や日本文化との接触の機会がほとんどないことから、隊員には、日々の授業のみならず、日本語・日本文化への理解を深めるための課外活動・イベント等を企画することが期待されている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

- 主に学士課程(日本語初級～上級、会話や作文)、修士課程(言語学や日本文化)の授業を担当する。
- 学生の日本語・日本文化への理解を深めるための課外活動・イベント等を企画する。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

機材:黒板 マルチメディア教室 使用教材:「初級日本語」(東京外国語大学)

4) 配属先同僚及び活動対象者

【学生】 学士課程89名、修士課程34名、博士課程7名 (2017年12月1日現在)

【インド人日本語教員】

常勤4名:学科長(女性 50歳代、博士号)、教員3名(男性、40歳代2名は博士号、男性20歳代は修士号)
非常勤1名:教員1名(男性、20歳代、修士号)

5) 活動使用言語

英語

6) 生活使用言語

ベンガル語

7) 選考指定言語

英語(レベル:B)

【資格条件等】

[免許]：（日本語教育に関する資格）

[学歴]：（大卒） 備考：配属先の事情による

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

任地での乗物利用の必要性

不要

【地域概況】

[気候]：（サバナ気候） 気温：（5～40℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可）

[水道]：（安定）

【特記事項】

現地語学訓練は英語の習得状況に応じて英語、もしくは現地語(ベンガル語)の訓練を実施予定。